

東京都が府中市とともに取り組むアートプロジェクト 「共生社会を聞いて、みる」 ～インタビュー動画第1弾公開～

東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、府中市とともにアートプロジェクトを展開しています。その一環として、共生社会に関わる人々へのインタビュー動画の公開を府中市公式YouTubeチャンネルにて開始しました。

初回ゲストには府中市の代表として高野律雄(たかの のりお)市長をお迎えし、府中市における地域共生社会実現に向けた取り組みについて、お話を伺いました。

この先さらに4名のゲストとのトークを順次公開していきます。これらの動画では、アクセシビリティを意識し、インタビューの内容をリアルタイムで絵や図形等を用いて視覚化する「グラフィックレコーディング」を採用しています。



収録の様子



グラフィックレコーディングの様子

府中市公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@fuchucitytokyo>



なお、今回作成されたグラフィックは、4月12日(土曜日)13:00～17:00に、ルミエール府中(市民会館)1Fエントランスロビーにて展示も行います。

主 催:東京都、府中市、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
企画協力:特定非営利活動法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ

<本プレス発表に関するお問い合わせ>

- 芸術文化連携事業に関すること
東京都生活文化スポーツ局文化振興部文化事業課 電話:03-5000-7232
- 動画および展示に関すること
府中市文化スポーツ部文化生涯学習課 電話:042-335-4464

『未来の東京』戦略ビジョン
事業

本件は、『未来の東京』戦略を推進する事業です。
戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略<アートとエンターテインメントのあふれる日>

東京都・府中市芸術文化連携事業プログラム「共生社会を聞いて、みる」		
エピソード	ゲスト	公開日
Vol.0	高野律雄さん(府中市長) 「府中市における地域共生社会実現に向けた取り組みについて」	現在公開中
Vol.1	中川英治さん(パリ2024パラリンピック ブラインドサッカー監督) 「スポーツにおける共生社会について」	4月以降 順次公開
Vol.2	高田裕美さん(書体デザイナー・株式会社モリサワ) 「誰もが読みやすい！？奇跡のフォントとは」	
Vol.3	小野寺敏雄さん(府中市聴覚障害者協会会長) 「2つあって知ってた？日本手話と日本語対応手話」	
Vol.4	柴田まりさん(アール・ブリュット立川実行委員) 「アール・ブリュット作家との家族としての関わり」	
出演	パーソナリティ:宮川亜弓(Artist Collective Fuchu [ACF]) グラフィックレコーディング:清水淳子	

※ Vol.0～2は、昨年10月に府中市のシンボルの一つ、大國魂神社から延びるけやき並木通りにて行われた、府中市制施行70周年記念「市民文化の日 in けやき並木」内で公開収録を実施しました。

■府中市の事業背景について

府中市は、今年開催される東京2025デフリンピックのレスリング競技会場でもあることから、機運醸成のための共生社会を考えるプログラムの実施を必要としていたことと、2026年度から始まる次期府中市文化芸術推進計画策定に向け、活動の担い手の声を拾うことを希望していたことから、本プロジェクトを行いました。

■東京都・区市町村芸術文化連携事業について

東京文化戦略2030の「誰もが芸術文化に身近に触れられる環境を整え、人々の幸せに寄与する～人々のウェルビーイングの実現に貢献する」目標のため、生活の中での芸術文化活動が増えること、行政の様々な場面で芸術文化が活用されていることを目指し、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京とともに、区市町村単独では取り組めない事業や、区市町村の試行的な取り組みの支援を行っています。

■アートプロジェクトとは

美術館やギャラリー以外の場所で行われるアート活動を指し、作品展示だけでなく、そのプロセスや人々との関わりを重視するもの。また、自治体など多様な人々が主催しているケースが多いのも特徴。

「日本型アートプロジェクトの歴史と現在1990年→2012年」
(編著 熊倉純子 長津結一郎 アートプロジェクト研究会)より抜粋

